

2022 年 10 月 28 日

ほしざらサロン 2022 年 9 月議事録

文責：阪本 麻裕

日 時： 2022 年 9 月 24 日(土) 18:00～22:00

場 所： プラネタリウム事務所

参加者： 篠原*，高木，町田，宮田

(50 音順、敬称略)

職 員： 小野田，平野，角田，石橋，阪本

計 9 名

* リモート(Microsoft Teams, Zoom) 参加者

1. 10 月 15 日(土)のほしざらウォッチング「木星・土星」について

=====予定=====

19:30～20:00 プラネタリウム解説(アカドーム広場)

20:00～21:00 天体観望(アカドーム前広場)

※ 雨天時は、19 時 30 分よりプラネタリウムでの解説のみを行う。

=====

角田： 前回[9 月 10 日(土)]のお月見ウォッチングの来場者数が約 400 人だった。

平野： 実際にお客様に聞いたところ、ほとんどの人がインスタグラムで知ったようだ。

角田： プラネタリウムのインスタグラムでは広報していない。個人ライターの方(フォロワー約 5 万人)が投稿していて、その影響だと考えられる。次のウォッチングでも来場者数が多いと大変であるため、対策をしたい。

篠原： 前回のように大勢の方がいる場合、終了時刻を把握していない可能性がある。行列が長くなるため、お客様に周知するべきだと思う。

宮田： 遅くとも 21 時 10 分で切り上げないといけない。

篠原： 長引く可能性があるため、きっちり 21 時で終了した方が良いかと。

宮田： 前回は月と土星を観望した。もしお客さんが多いようであれば、木星のみを見るのか。

平野： 広報誌等で、“木星・土星”と掲載しているため、木星のみは難しいのではないか。

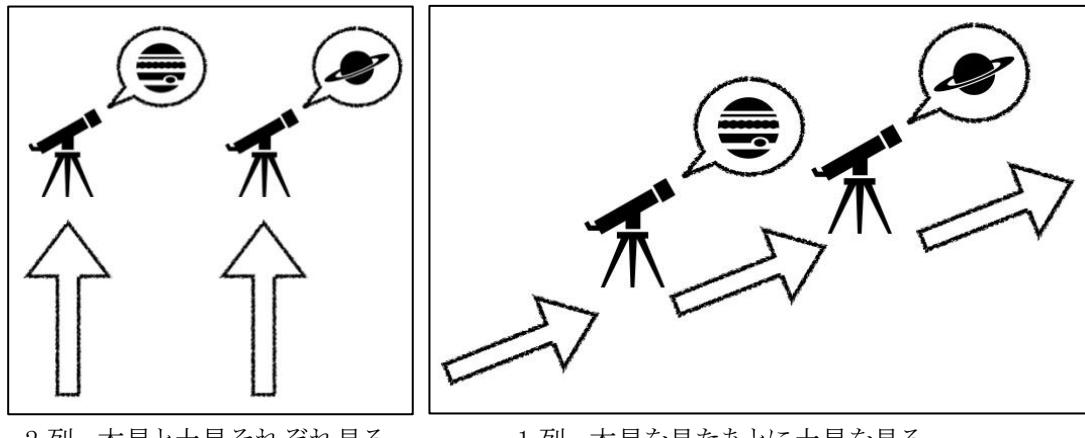
篠原： もし 80 人を超えた場合、プラネタリウムは 2 回投影になるのか。

小野田： 毎回、開始時刻になってから増えてくる傾向である。今回は、プラネタリウムでの解説が最初にあるため、ある程度人数が把握できると思う。

角田： 定員を超えないよう、プラネタリウムはできる限り早めに始めたい。人数が多い場合は、プラネタリウムの入口にあるディスプレイにドーム内の様子を映すといった工夫を施したい。

宮田：2回目にドームに入れなかった方がいた場合、40人程度であれば望遠鏡の方に案内をしたい。しかし、人数によっては、望遠鏡のところにいるグループとプラネタリウム(1回目)見終わった方々と重なってしまう。判断をするのが難しい。

篠原：望遠鏡に並ぶ列はどうするのか。2列にして、それぞれ木星と土星を見てもらうのか、1列にして、木星と土星を順番に見てもらうのか。



角田：何回か見る方も一定数はいるため、さらに列が長くなってしまう。

篠原：列は長くなるが、進むスピードは速いように思う。

小野田：整理券を渡すのかどうか。

篠原：整理券は手間がかかると思う。やはり最初から2回目は考えず、1回だけ呼びかけた方が良いかと。

宮田：雨天時はプラネタリウムでの解説のみの実施だが、その時は2回するのか。

角田：多くて3回が限界だと思う。そのため、240人を超えると厳しい。

篠原：晴天時も雨天時と同じように、240人以上の場合は断った方が良い。観望会のみの参加者もある程度いるはずだ。

角田：大人数(240人以上)の場合は、木星のみになるかもしれない。240人未満であれば、木星と土星を観望するという方針にし、臨機応変に対応したい。

2. 来年の初回ウォッチングについて

以前、サロンの話し合いで、来年の初回ウォッチングの日程候補が挙がっていた。2023年3月4日(土)である。この日は、金星と木星が最接近する。

宮田：金星と木星の高度が低い。

角田：同一視野で観望できるのか。

宮田：視野の端と端になり、見るのが難しい事例が過去にあった。

高木：金星は観望可能である。対空双眼鏡で30mmのアイピースを使用するか、タカハシ屈折望遠鏡で30mmのアイピースとレデューサーを用いると良いかもしれない。

宮田：タイトルは月と冬の星座になるのか。金星や木星、月は肉眼で見てもらう。

小野田：月齢は12。すばるも見えている。

角田：観望天体は、すばると火星で良いのではないか。

高木：主な観望天体を恒星にするのであれば、月は見えていない方が良い。

角田：1週間後(3月11日)は、すばるの高度が低くなつて良いかも知れない。

宮田：日の入が18時30分ごろのようだ。

-->2023年の第1回観望会は、3月11日(土)を予定している。19時30分よりプラネタリウムでの解説、20時より天体観望を行う。来年もスタンプカードを実施するが、認定証については未定。

=====予定=====

2023年3月11日(土)「すばる・火星」

19:30～20:00 プラネタリウム解説(アカドーム広場)

20:00～21:00 天体観望(アカドーム前広場)

※ 雨天時は、19時30分よりプラネタリウムでの解説のみを行う。

=====

3. クリスマス番組について

今年も昨年と同様、職員が番組を制作する予定である。これまでスタッフからいただいた意見を参考にまとめた。今後、登場人物等の台詞を含めた脚本を作成予定。

4. 10月以降の活動について

★10月 8日(土) ほしざら友の会(13:30～16:00 火薬ロケット工作)

★10月 15日(土) ほしざら友の会(13:30～16:00 火薬ロケット工作 補講日)

ほしざらウォッチング「木星・土星」(19:30～21:00)

★10月 29日(土) ほしざらサロン(18:00～22:00)

★10月 30日(日) 出張観望会@旧若宮西小学校(18:30～20:00)

★11月 12日(土) ほしざら友の会(9:30～10:45 火薬ロケット打ち上げ)

★11月 19日(土) ほしざら友の会(9:30～10:45 火薬ロケット打ち上げ 補講日)

★11月 26日(土) ほしざらサロン(18:00～22:00)

★12月 3日(土) 出張観望会@日の里西小学校(18:30～20:00)

★12月 10日(土) ほしざら友の会(9:30～10:45 流星について)

★12月 24日(土) ほしざらサロン(18:00～22:00)

次回のほしざらサロンは、2022年10月29日(土)です。